

病気と苦痛に対する人間の闘いのために

小野薬品は1717年の創業以来、業業一筋に邁進し、300年の歴史を築いてきました。これからも「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、たゆまぬ挑戦を続け、医薬品の「質」で世界トップクラスの製薬企業を目指します。

小野薬品の歩み

薬種商として創業、 近代的経営への切り替えを図り、 製薬メーカーへ

初代伏見屋市兵衛が1717年に、道修町にて「伏見屋」の屋号のもと、薬種商として創業。

1947年に医薬品問屋から製薬メーカーへと本格的な切り替えを図り、「販売」と「製造」の二つの経営機能を持つ小野薬品工業株式会社を設立。



小野薬品の前身「伏見屋市兵衛商店之図」弘化三年発行「浪花独案内」誌より

国民皆保険制度が導入された1960年代、のちにノーベル医学・生理学賞を受賞したベルグストローム博士との出会いを機に、1968年には企業として世界で初めて、生理活性脂質「プロスタグランジン (PG)」の全化学合成に成功。また、世界に通用する医薬品開発を目指して研究開発体制を強化。創業の拠点として、中央研究所（現在の水無瀬研究所）を完成させる。



中央研究所

- 1968年 中央研究所（現在の水無瀬研究所）竣工
- 1968年 企業理念を制定

世界初のPG製剤の 開発、販売に成功。 独創的新薬の創製に注力

「プロスタグランジン (PG)」全化学合成の成功から5年後に、世界初のPG製剤の製造販売承認を取得し、翌年発売。不安定な物質の製剤化に成功し、世界で初めて新薬に導いたことにより、世界から注目を浴びる。当時では数少ない近代的な設備を備えた製造工場を建設して生産機能の拡充を図り、成長期を迎える。

1975年 フジヤマ工場竣工

1974年 陣痛誘発・促進、分娩促進剤
世界初 「プロスタルモン注射液」



1976年 経口陣痛誘発・促進、分娩促進剤
世界初 「プロスタルモン錠」



1978年 急性肺炎治療剤
世界初 「注射用エフオーワイ」

1979年 末梢循環障害改善剤
世界初 「注射用プロスタンディン」



世界初の画期的新薬を 相次いで開発、上市。 企業体制の強化を推進

水無瀬新研究棟の竣工や安全性研究を担う福井研究所の開所など研究体制の強化を進めるなか、1970年代から引き続き、世界初の画期的な新薬の創製に相次いで成功。

製造・販売一体化の新しい拠点を立ちあげるなど、医薬品の品質管理と安定的な供給体制の整備も進める。海外拠点として初となるロンドン事務所を開設し、海外進出の第一歩を踏み出す。

- 1982年 英国ロンドン事務所開設
- 1985年 福井安全性研究所竣工
- 1987年 水無瀬研究所新研究棟竣工（中央研究所を改称）
- 1988年 中央物流センター竣工

1984年 妊娠中期の治療的流産剤
世界初 「プレグランディン膈坐剤」



1985年 慢性肺炎治療剤
世界初 「フオイバン錠」

1987年 胃潰瘍治療剤
日本初 「ロノックカプセル」

1987年 手術時の血圧調整剤
「注射用プロスタンディン500」

1988年 くも膜下出血術後の脳血管縮治療剤
世界初 「注射用カタクロット」

1988年 閉塞性血栓血管炎治療剤
「オバルモン錠」



1717年
創業

1960年代

1970年代

1980年代

グローバル スペシャルティ ファーマ

2017年
創業
300年

新薬メーカーとして 順調に業績を伸ばし、 海外拠点の構築に注力

PG製品を中心とする、それまでにはなかった数々の独創的な自社創製薬を強みに業績を伸ばし、新薬メーカーとして成長。

気管支喘息治療剤の上市など製品ラインアップの拡充により、さらなる成長のための財務基盤を整え、海外での臨床開発を促進するための拠点構築に取り組む。

- 1990年 米国シアトル事務所開設
- 1993年 福井合成研究所開設
- 1994年 韓国ソウル事務所開設
- 1996年 水無瀬研究所新研究棟竣工
- 1998年 米国、英国に現地法人設立
(既存現地事務所を発展的に解消)

1992年 糖尿病性神経障害治療剤
世界初 「キネダック錠」



1992年 気管支喘息治療剤
「ベガ錠」

1995年 気管支喘息治療剤
世界初 「オノンカプセル」



1997年 褥瘡・皮膚潰瘍治療剤
「プロスタンディン軟膏」

ライセンス活動を強化。 創薬は、次世代に向け 新たな挑戦へ

2002年以降、自社創製化合物の開発中止が相次ぎ苦しい時代を迎えるも、新薬候補化合物の導入を目指したライセンス活動を強化し、継続的な新薬上市につなげる。

次世代創薬を見据え、ゲノム創薬の拠点となる新たな研究所を筑波に開設。大学や研究機関と連携し、先端医薬研究をはじめ、既存の概念にとらわれない薬づくりに挑む。

- 2003年 筑波研究所竣工

2000年 気管支喘息治療剤(小児用)
「オノンドライシロップ」

2002年 全身性炎症反応症候群に伴う
急性肺障害治療剤
世界初 「注射用エラスポール」



2002年 手術時の頻脈性不整脈
治療剤「注射用オノアクト」

2007年 過活動膀胱治療剤
導入 「ステーブラ錠」

2009年 骨粗鬆症治療剤
導入 「リカルボン錠」

2009年 2型糖尿病治療剤
導入 「グラクティブ錠」

2009年 抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・
嘔吐治療剤「イメンドカプセル」
導入

がん領域に本格参入。 人財の育成や活性化、CSR活動の 充実など、企業基盤の強化を推進

創薬研究領域のひとつとして、がん治療およびその支持療法の領域を戦略分野として定め、本格的に参入。オープン・イノベーションの取り組みをさらに強化し、革新的な医薬品の創製を目指す。

CSR活動に注力し、社会の持続的な発展に貢献し、社会から必要とされる企業でありつづけるべく、企業基盤の強化に取り組む。

- 2013年 韓国に現地法人設立
(既存現地事務所を発展的に解消)
- 2014年 台湾に現地法人設立
- 2014年 小野薬品ミッションステートメント 制定
- 2016年 水無瀬研究所第三研究棟竣工

2011年 アルツハイマー型認知症治療剤
導入 「リバスタッチパッチ」

2011年 抗悪性腫瘍剤投与に伴う悪心・
嘔吐治療剤「プロイメンド点滴静注」
導入

2013年 関節リウマチ治療剤
導入 「オレンシア皮下注」

2014年 2型糖尿病治療剤
導入 「フォーシガ錠」

2014年 抗悪性腫瘍剤
世界初 「オブジーボ点滴静注」



2016年 抗悪性腫瘍剤
導入 「カイプロリス点滴静注」

2017年 二次性副甲状腺機能亢進症治療剤
導入 「パーサビブ静注透析用」

1990年代

2000年代

2010年代